

平成26年度 第1回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	平成26年度 第1回安曇野市図書館協議会
2	日 時	平成26年5月27日 午前10時から正午まで
3	会 場	穂高交流学習センターみらい 多目的交流ホール
4	出席者	内田会長、田村副会長、青木委員、降幡委員、牛越委員、木船委員、下川委員 会田委員、今泉委員
5	市側出席者	北條教育部長、赤羽図書館交流課及び中央図書館長、青柳豊科図書館長 清水三郷図書館長、勝野堀金図書館長、百瀬明科図書館長、小林図書館交流課課 長補佐、沖図書館交流課主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年5月27日

協 議 事 項 等

1	会議概要	<p>(1) 開会 (赤羽図書館交流課長)</p> <p>(2) あいさつ (内田会長) (北條教育長職務代理及び教育部長)</p> <p>(3) 協議事項</p> <p>①平成25年度事業報告について・・・報告事項</p> <p>②三郷・堀金図書館整備について・・・協議事項</p> <p>(4) その他</p> <p>(5) 閉会</p>
2	審議概要	<p>(1) 平成25年度事業報告について</p> <p>【中央図書館長から説明】</p> <p>(委員)</p> <p>レファレンスに力を入れてきたと報告があったが、実績として具体的にどのような変化があったのか。全体の図書館で蔵書を年間どのくらいのペースで本を増やしているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>レファレンスの実績として昨年より増えています。また、レファレンス研修等も行い司書のスキルアップを図っています。この辺りについては、改めて資料を委員の皆様にお渡ししたいと思います。蔵書ですが、平成25年度は市内5館合わせて約12,000冊の増です。5館それぞれの数は今はわかりませんが、平成24年度は約13,000冊で、全体的には毎年約10,000冊強の蔵書が増加している状況です。</p> <p>(委員)</p> <p>年度当初に事業の目標があったかと思いますが、どこの部分をどう強化したのかストーリーが見えない。全体として狙っていたところと、実施したところとの違いが分かれば、今後の事業にも活かせるのではないかと。</p> <p>(事務局)</p> <p>25年度の総括とその反省を活かした事業ということだが、全体の話としまして図書館の貸出数ですが、昨年の入館者数は約5,000人減少しましたが、貸出数について昨年7,347冊上回る768,685冊でした。理由としては、インターネット予約サービスが昨年の2倍の約10,000冊の増。各館での事業への参加の増が見受けられました。今後も図書館サービスの拡充、広報活動に力を入れていきたい。25年度の反省を活かし、26年度の主な取り組みですが、図書のリクエスト(購入希望)や相互貸借のサービス、インターネット貸出予約サービス、レファレンスサービスの充実を図ります。また、三郷・堀金図書館建設に向けた計画づくりを行っていきます。</p> <p>(委員)</p> <p>お話し会はどのような所を狙っていて、どのようなテーマでお話し会をしているのか。また、ボランティアの皆さんにどんなことをお願いして、その狙い通りできたのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>例えば「おはなしのとびら」というお話し会があり、毎週水曜日、乳幼児対象として開催していきまして、</p>

々増加をしています。他の事業についても前年度を上回る増加となっています。また、ボランティアの育成として、講師を招き、実際のお話しの手法など、図書館の職員だけでなくボランティアのスキルアップも図る研修会を積極的に取り組んでいます。

(委員)

国会図書館の資料の閲覧や複写のサービスが始まっているが、安曇野市はどうか。それと、休館日の変更となりましたが、その影響があったのか。

(事務局)

一部サービスの提供をしているところもありますが、規則等の体制を整えなければならないこともあります。近隣の図書館の状況を見ながら対応を図っているところで、十分な対応ができていない所が現実です。休館日の変更については、昨年3月に条例改正をして、半年間の周知期間を経て10月より実施。大雪の影響等で入館者数は約5,000人前年を下回りましたが、貸出数は約8,000冊増加した。状況として休館日変更によって来館者の減少にはなっていないと思っています。

(委員)

読み聞かせのボランティアの育成研修会について、講師の方が毎年同じというのはどうか。

(事務局)

ご指摘のことも確かにありますが、同じ講師であっても、内容が一緒ということではありません。前年度とは違った新たなスキルアップということを考えています。今年度については、読み聞かせだけでなく、紙芝居の実施の方法などについて研修を行う予定です。そういうところにもボランティアの皆さんに参加してもらいながら、全体のスキルアップにつなげていきたいです。

#### 【各図書館長から説明】

(会長)

各図書館から報告を受けましたが、また、中央図書館と違った、図書館を核として人と人とのつながりがある。今コミュニティが壊れているといわれている中で、図書館で生まれるつながりは非常にいいことだと感じた。

(委員)

児童館に勤務していますが、乳幼児の交流という部分について、火曜日、水曜日、木曜日、キッズパークという事業を行っている。これは市の教育委員会から依頼を受けている乳幼児の事業。お話し会が水曜日になっていて残念です。イベント等を企画するときに調整しますが、重なってしまうこともある。できるだけ重ならないように調整をお願いします。

(会長)

できるだけ重ならないように調整していただくということで、意見として受けたいと思います。ぜひ、ご検討いただきたいと思う。

(委員)

25年度はPRに力を入れることになっていたかと思いますが、具体的にどのように取り組まれていたのか。

(明科図書館長)

市民タイムスに取材をしていただいたり、イクジーという雑誌に掲載していただいたり、広報あづみに掲載したり、防災無線放送で周知をしたりしています。

(堀金図書館長)

ほかには、小中学生の利用者拡大ということで、図書カードの作成を呼び掛けを、小中学校へ館長が出向いてお願いをし、その結果、図書カードを持っている子どもが増え、図書館に足を運んでくれる子どもたちが増えているという状況です。

(三郷図書館長)

公民館で活動する育児サークルの方にチラシを配布したり、図書館講座の参加者や図書館を利用された方に声掛けをしたり、デイサービス、児童館、児童クラブなどに出向いて声掛けをし、顔が見える関係を築くことは大事だと実感しています。

(豊科図書館長)

同様の取り組みをしています。私、昨年まで中央図書館にしまして、学校図書館司書の方に学校連携についてPRしてきました。各学校との団体貸出ということで、多くの学校で利用されている。特に調べ学習などに利用されています。また、昨年、近くの小学校の学年が調べ学習として実際に図書館に出向いて2時間ほど学習をしていきました。学校図書館とのネット管理などの整備を広げられればと思っています。

(委員)

よくわかりました。市民タイムスですが、図書館関係の記事を数カ月、スクラップをしましたが、安曇野市の関係は2、3記事だった。いろいろな方法でPRしていくことは大事だと思います。そのためには新しい企画を進める必要があるし、待っているだけでなく、こちらから記事にさせていただくよう働きかけることが大事だと思う。

(会長)

上手にマスコミを利用するなど、今後ご検討していただければと思います。

(委員)

三郷交流学习センターの資料で、図書館利用状況が良く分かる。できれば、毎回このような資料を作成すれば、状況がよくわかると思うので、提案します。

(委員)

提案ですが、入館者数や貸出数などが数字で分かる一覧表が見たい。素晴らしい実績なのでイベントの報告だけでなく、図書館の統計も事業報告として出していただければという提案です。

(会長)

一般的には取り組む課題があつて、その課題の目標を示して、その目標を達成するための施策を立てて、事業計画を進める、その結果がどうなったかというのを検証することが大事。ぜひ、ご検討ください。

#### 【事務局より三郷図書館整備について説明】

(委員)

3月に開催された市民説明会にも出席させていただきましたが、これまでの経過がほとんど説明なかった。本日説明をお聞きし、やっと理解できた感じでした。できれば本日説明していただいた内容のものを資料にいただければ、ワークショップに参加される市民の皆様にも分かりやすいのでは。計画を進めるにあたり、具体的に維持費がこのくらいかかるので、今の計画のほうが経済的に良いとか、あとあと考えるとこうだ、などを分かりやすく資料をまとめて市民が見られるようなかたちをとれば、今後スムーズに進めていけるのではと思います。

(会長)

今、そういうことができるかという提案を頂きましたが、事務局で対応できるかどうか。いかがでしょうか。

(事務局)

貴重なご意見をいただきましたので、今後検討させていただきます。

(委員)

私も市内図書館を回らせていただいています。三郷が一番小さいです。三郷は場所が狭い上に人がいない。一番の問題は本が少ないということです。計画を拝見させていただくと53,000冊の本が48,000冊になった。普通新しく造るのであれば、特別な予算をつけて本をたくさん買うはずだと思う。今でさえ少ないのに、なぜ、蔵書数を減らしたのか。計画どおりで検討してほしいです。

(事務局)

委員がご指摘のとおり、市民検討会議でもご意見をいただきました。市全体の蔵書数は40万冊という計画を持っています。そのうち20万冊を中央図書館、残りを4つの館で持つという計画で、今現在、変わっておりません。その中の配分でということで53,000冊から48,000冊ということで提案をさせていただきました。この点については再度内部で検討をさせていただきたいと思います。

(会長)

三郷図書館と堀金図書館は多分、図書館ではなく公民館に併設した図書課室だったと思います。それが、市になったときに、そのままの施設で図書館に格上げをしたと思います。これで、三郷と堀金に図書館が整備されるとやっと図書館らしくなるのかなと思います。

(委員)

合併する5年も前に、図書館が狭いということで何回も計画を立てていたが、合併した後、計画もなかったものがどんどん建てられ、三郷は後回しで、あげくには53,000冊を48,000冊に減らされた。当初計画の53,000冊より増えるならともかく、それ以上減らさないようにしてほしい。建設が1、2年先に延びても将来的にいいものを造ってほしいと思っています。そんなことを改めて要望したいです。

(会長)

ぜひ、検討していただければと思います。

(副会長)

合併前の三郷の計画は全くわかりません。でも、せっかく安曇野市になったので、合併前からの経過を書面で分かるように、また、ワークショップに参加しない市民の方でも分かるように市HPなどで閲覧できるようにいただければと思います。三郷支所がとても好きで、ヒマラヤスギやユリの木、油をとった松などが植栽として植えられています。図面を見ると何とか残るのかなと思います。ぜひ、素晴らしい景観を残してほしいなと思います。

(会長)

今後、検討していただきたいと思います。施設整備につきましては、今後、ワークショップなども開催し、市民から意見を聞く機会を設け、検討していく予定となっています。今後の経過を見守りながら、図書館委員の皆様にもぜひ市民ワークショップにご参加いただけたらと思います。

#### 【事務局より堀金図書館整備について説明】

(会長)

今後、具体的になってきたらお示しいただければと思います。

**【事務局よりその他説明】**

(事務局)

図書館のPRが必要だとしてご指摘をいただきましたが、この4月から、あずみのFMの中で「ビブリオマルシェ」がスタートしました。これは、安曇野市、池田町、松川村、生坂村の4つの市町村の図書館で、司書が進めるお勧め本や各図書館でのイベントなどの紹介を行っています。毎週土曜日の正午から1時の間で放送されています。ご紹介をさせていただきました。

(会長)

全体を通して何かご質問等ございますか。

(委員)

お願いですが、図書館利用を上げていくということで、小さいうちから本に親しみをもつことが大事かと思っています。小中学校へのアプローチというか、小さいうちから図書館に親しんでいけば、大きくなってつながっていくと思います。また、市内には5館の図書館があつていろいろな行事がありますが、全館共通の行事を考えていただければと思います。また、年配者の利便性なども考えていただければと思います。

(委員)

蔵書検索の機械ですが、プリントアウトができるように機械を入れてほしいと思います。検討してほしい。PRということで、先日、司書さんからツイッターがあると聞いたが、詳しいことが分かれば教えてほしい。

(事務局)

ツイッターについて詳しい内容は認知しておりませんが、そういったものもぜひ、PRとして活用していきたい。

(委員)

提案ですが、安曇野市が合併しまして、安曇野市にある物語や伝説などを市民に知っていただきたいと思っています。合併しても他地域のことはよく知らない。安曇野市全体の交流の場というか、どこかで統括していただき、進めてほしい。

(豊科図書館長)

市では、グループボランティア会議を年2回開催してまして、全市のお話しの会の方が集まった会議ですが、そこで、今のお話しの件について提案していただくとよいかと思います。

(以上で閉会)